



今回4人が質問し、その要約を掲載しました。

**AQ AQ AQ AQ AQ AQ AQ AQ AQ AQ AQ AQ**



三村由利子 議員

施政方針の重点施策は何か。  
 総合計画の前期計画事業。  
 廃食用油の再資源化で、新たな方法があるのか。  
 町で回収し業者に精製を依頼する。  
 デマンド交通の土曜日曜運行に前向きな考えはあるか。  
 現状のまま平日のみの運行。  
 妊産婦健診補助の具体策は。  
 国会で可決され14回まで公費負担が可決された。  
 農業の活性化対策はどう考えているか。  
 新規農業従事者に農地の提供や住宅等の確保が急務。  
 農業振興地域（エリア）の見直しをどう考えるか。  
 これから勉強していく。  
 ホルルの湯の効率的な運営を図るとの妙案は何か。  
 現況を把握し改善しながら有効利用を図っていく。  
 教育委員会の外部評価委員会とは。  
 教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況を外部の視点で  
 評価を行う。  
 常北高校を特色ある有数の高校へ育てるとはどういうことか。  
 弾力的で特色のある教育過程の導入など申し入れる。  
 町民運動会に対しての考えは。  
 意見を伺いながら検討する。  
 行財政運営の合理化についてのビジョンを伺いたい。  
 現行の集中改革プランの進捗状況を踏まえ、公平の確保と透明  
 性の向上を図る。  
 城里芸術の里の構想とは。  
 芸術家と交流活性化に結びつける。



飯村 吉伊 議員

- Q** 定額給付金について
- AQ** 支給開始時期は、  
受付は4月13日から。  
給付対象基準日は、  
基準日は2月1日で、町単独で基準日に該当する学年時の不公平感が生じないように、18歳の対象者210人と65歳の対象者55人、212万円の町単独補助を計画している。
- AQ** プレミアム商品券発行などは考えないのか。  
考えていない。
- AQ** 町長自身の使用方法は、  
町内で買物をする。
- Q** 地元特産物の振興対策と農産物のブランド化と、地産地消の取組は。
- A** 本町でしか手に入らない物でブランド化を、地産地消対策については、やまびこ有機米もエコ農業茨城推進事業の補助事業である。
- AQ** 中学生までの医療費の無料化は、  
医療福祉費支給制度の中で町単独事業で、財源は公共施設整備基金を充てる。
- Q** 合併について、合併しない方がよかったと、町民の声を聞いて合併時の村長として責任があるとしているがそれらの考え方は、住民の接触が希薄になり地域格差が広がり、その不満の声をなくすべき説明が足りなかった責任を感じている。



玉川 台俊 議員

- Q** 選挙公報に掲げた町活性化の施策7点に町民が期待して、結果に結びついている。答弁にあたり町長は施策の整理がされていない。考えをよく整理して町政にあたるべきではないか。
- A** 公約について整理がされていないと指摘を受けた。公約を整理して実現に向け頑張っていく。
- Q** ホルルの湯は町と公社との協定により運営されている。協定書の25条は物価の高騰が前提にあると理解するが、物価の下落でも追加委託料999万6,000円を補正で出せるのか。  
出せると考える。
- Q** 高齢者の肺炎予防のためのワクチン接種に対して補助を行う考えがあるか。  
ない。
- A** 年少者に対しインフルエンザ予防接種の補助を行う考えはないか。  
今後検討。
- Q** 介護保険料の急激な負担増を抑制するための基金の積み立てを行う考えはないか。  
ない。
- Q** 今回の選挙戦において公園墓地が再考され推進されてしまうのではないかと心配する声を町民から聞いている。休止を再考し計画を推進する考えはあるのか。  
今のところ計画する考えはない。
- AQ** 診療所を利根町のように黒字化させる考えはないか。  
一般会計からの繰り入れを少なくする方向でやっていく。